

平成27年度「未来づくり説明懇談会」議事録（主旨要約）

□日 時	5月20日（水）午後7時～午後9時
□会 場	白沢区民館
□参加者	町側11人、地区側28人

1. 町民憲章唱和

2. 町長あいさつ

同趣旨のため省略（5月8日（金）宮津公民館参照）

3. 「住民税1%町民予算枠制度」について説明（政策協働課長）

わくわくコラボ事業・わくわくアイデア事業について

制度の概要説明及び募集要項に沿った各事業の説明及び応募促進型講座の紹介をする。

4. 地区からの提言・質問事項についての主旨要約

質問（1）「住民税1%町民予算枠」事業

「協働のまちづくり」推進のための指針を明確にし、今後取り組むべきことを課題としてまとめ、町民に対してもテーマの採決、進捗状況をアピールすべきと思う。（白沢）

答）「みんなでつくる参画と協働のまちづくり」を推進のために、町の指針である「第5次阿久比町総合計画」のなかの「第6章みんなでつくる参画と協働のまち」に現状と課題、施策の目標、主要施策などが記載されております。

今日、町民のまちづくり意識が高まる中で、多様化・高度化した町民ニーズに対応していくためには、行政だけが行うのではなく、町民と行政が、あるいは町民相互でまちづくりを築いていくことが必要となります。

そこで、総合計画の基本理念の一つにあります「参画と協働」でつくる自立したまちづくりを実現するために、今年度で4年度目にはいる「住民税1%町民予算枠」事業においては、『町民提案や町民活動の想いをカタチに・町民のお金を、町民の皆さん自らが考え、使い道を決める』制度を実施しております。

また、この事業報告会を公開で行うことで、「町民への説明責任はもちろんのこと、制度や事業について広く町民に伝え、理解を得ることで事業への参加活動や活動する人を増やしていき、地域をより元気にしていくことを目的」として開催しております。本年度においては、5月30日（土）午後1時から4時まで中央公民館301号室にて、公開事業報告会平成26年度実施事業分を開催しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

なお、合わせて、町広報紙・ホームページにて公表などの情報発信をし、制度の普及に努めております。（総務部長）

質問（２）ホームページでの阿久比町と近隣市・町の「協働のまちづくり」進捗状況
阿久比町・大府市・高浜市・南知多町・東浦町・半田市（白沢）

阿久比町については、平成24年度からスタートした「住民税1%町民予算枠制度」は、平成27年度にはいり4年目となります。この制度は、第5次阿久比町総合計画にある「みんなでつくる参画と協働のまち」を目指し、様々なまちづくり活動を支援してきました。

この制度は徐々にですが町民にも浸透し、この制度を利用した事業や団体が補助金を利用しながら、まちづくり活動を自主的・自発的に進めており、阿久比町におけるまちづくり活動やボランティア活動を支援する制度として、また町民のアイディアを町の施策に反映する制度として定着しつつあります。しかし、一方では提案が個人的な要望や、応募される団体の固定化・減少化の課題が見受けられます。

今後、より一層有意義な制度にしていくためには、町民の皆様が町政へ積極的に参画していただき、まちづくりに有益な事業や地域の身近な課題の解決につながる事業の提案や、町民活動団体が自発的に行うまちづくりに役立つ事業に支援をして、町民の皆様と町行政が一体となった協働のまちづくりをしてまいりたいと考えております。

阿久比町では、大字・自治会単位での地域活動や南部小学校区における「阿久比南部コミュニティ推進協議会」による各種事業、草木小学校区を中心にスタートした「総合型地域スポーツクラブアクティブあぐい」による住民の自主的な活動をしております。また、本年度で4年目となる「住民税1%町民予算枠」制度を利用した事業や団体が補助金を利用しながら、まちづくり活動を自主的・自発的に進めております。さらに、本年度については、東部小学校区に「阿久比東部コミュニティ推進協議会」を設立するための準備等を行っております。

今後、より一層有意義な制度にしていくためには、町民の皆様が町政へ積極的に参画していただき、まちづくりに有益な事業や地域の身近な課題の解決につながる事業の提案や、町民活動団体が自発的に行うまちづくりに役立つ事業に支援をして、町民の皆様と町行政が一体となった協働のまちづくりをしてまいりたいと考えております。

大府市については、平成18年度に「大府市協働のまちづくり推進条例」を制定し、協働の担い手である市民、自治会・コミュニティ、NPO・ボランティア、事業者、市の役割を明らかにするとともに、指針1、指針2を策定し、協働のための様々な制度や仕組みを整え、これまでの協働の歩みを検証して指針3を策定しております。

市の財政支援策としては、協働の担い手となるNPOの育成、法人化に向けての「NPO法人立ち上がり支援事業」を、また、市民や事業所などによる寄付による「ひとまちおうえん基金（協働のまちづくり推進基金）」を設置して、協働のまちづくりを推進する市民活動団体やNPOなどの公益活動や、NPO法人立ち上がり支援などに使われております。

コミュニティ組織としては、概ね小学校区にコミュニティ推進協議会・まちづくり協議会を設け、機関誌の発行、530運動、緑化推進活動、夏まつり、公民館ふれあいまつり、芸能祭、区民運動会、歩け歩け大会、グラウンドゴルフ大会、地域巡回パトロール、あいさつ運動などの活動をしております。

高浜市においては、平成18年度から市民、市民公益活動団体、市がそれぞれの立場の違いや特性を互いに認め合い、対等なパートナーとして連携・協力して取り組む、新しい公共空間を形成するための事業を実施しております。また、平成22年度からは「市民予算事業（協働推進型）」へ仕組みを移行して実施しております。

市の財政支援策としては、個人市民税の一部と市民からの寄附金により、NPO法人を設立しようとする市民公益活動団体に対して、NPO法人認証取得申請に必要な経費を支援する「高浜市まちづくりパートナーズ基金」を設置しております。

コミュニティ組織としては、小学校区の町内会や各種団体、住民が連携して、各種団体だけでは解決できない問題や課題について取り組み、まちづくりをすすめるコミュニティ組織「まちづくり協議会」を設け、地区ごとにテーマを決めて活動をしております。

さらに、地域住民と行政がまちづくりの対等なパートナーとして、地域課題の解決に向けて協議・検討・実践をし、地域の発展に向けた協働のまちづくりを推進するため、平成20年4月より特派員として任命された市職員が「橋渡し役」として活動する「まちづくり協議会特派員」制度を設けております。

南知多町においては、地域の課題解決に向け、住民と行政が協働で取り組み、地域住民、自治体、企業、専門家が連携を図り、共通の認識をもったまちづくりを推進するため、「南知多町まちづくり協議会」を設置しております。

町の財政支援策としては、協働と連携のまちづくり推進を目的としたまちづくり協議会を設立する場合の「まちづくり協議会設立準備交付金事業」と、地域が持つ特性や伝統などを生かした魅力ある地域づくりを推進するため、自ら考えた地域振興事業を行った団体に対して「地域振興等支援事業」を行っております。

また、協議会のうち、「まちづくり」について少しでも関心を持っていただけるように活動情報や地域情報などを発信するホームページを開設し、情報の発信をしております。

例えば、内海・山海まちづくり協議会「きずなの会」では、地域の問題解決に向けて、課題ごとの部会を設置して活動をしております。その活動状況等を「きずなネット」としてホームページを作成しております。

東浦町においては、住民の皆さんや各種団体による柔軟な発想と創意工夫を生かした事業を募り、提案団体と町が協働して実施する事業や町内で公益的な活動を行うNPO法人を応援する「東浦町パートナーシップ推進事業」を実施しております。

住民の方のボランティア活動をはじめ、様々な住民活動を支援するために、活動者やこれから活動を始めようとする方の拠点となる東浦町総合ボランティアセンター「なないろ」を平成26年7月1日にオープンさせております。

平成21年度から全6地区において、「地域コミュニティセミナー」を開催し、その後、地区ごとの「まちづくり勉強会」において地域ごとの「がんばる地域行動計画」を策定し、これに基づき、2地区ではコミュニティまちづくり実行委員会を立ち上げ、諸問題の解決を図り、よりよい地区となるように活動をしております。

また、各地区のコミュニティ推進協議会では、各地区コミュニティのイベント情報をホームページにアップして情報の共有をし、区民体育祭や盆踊り、コミュニティまつりなど

のイベントを通じ、地域のみなさんと交流し、親睦を図っております。同様に、ホームページにおいて、「みんなで創るあなたのまち」を目指しボランティア情報を発信し、活動しております。

半田市においては、第6次半田市総合計画に掲げた、将来の都市像である「次代へつなぐ市民協働都市はんだ」の実現に向け、市民と行政がお互いの立場や役割を尊重し、共に考え、決定し、行動するための指針として「半田市市民協働推進計画」を平成23年4月に策定しております。この策定された指針に基づき、実施状況を検証して、今後の取り組みについて検討し、協働のまちづくりに努めております。

市民活動支援事業としては、市内などで活動するNPO・ボランティア団体・自治区などの市民活動団体が行う事業を支援する「市民活動助成金（はじめの一步部門・ステップアップ部門）」や、ホームページ上で市内NPO法人の紹介や半田市ボランティア・NPO情報紙「かつどん」による情報の発信、はんだまちづくりひろば登録団体の活動場所としての「市民参画支援センター」の設置をしております。また、市民、自治区、企業、行政、社会福祉協議会等で構成された「はんだまちづくりひろば」では、当該事業の企画や広報を立案、検討をしております。

さらに、半田市においては、「地域と行政のつなぎ役」として、平成26年10月1日より、市内4地域に地域担当職員を配置し、小学校区で構成されているコミュニティや、単独の自治区に市の職員が地域の方と一しょに活動し、信頼関係を築きながら、地域からの提言の収受、行政情報の伝達など、地域と行政のつなぎ役となり、よりよい地域づくりを応援しております。ご質問に挙げられた他市町の状況は以上です。（総務部長）

質問（3）下水道の町への移管について

昨年移管の条件提示は受けましたが、高齢化の進んでいる白沢台にとっては実現は極めて困難です。何とか旧設備の補修で本管への接続が実現できないか再検討下さい。（白沢台）

答）今自治会で管理しています処理施設を何とか町で管理してほしいということですが、新たな方法として町からひとつ案を持ってまいりました。自治会さんのほうで話をまとめていただければ町では専用住宅の小型合併浄化槽の設置につきましては、補助金を交付しております。毎年度補助件数に限りがございますが、白沢台さんがご検討いただけるようでしたら、補助件数の増加など町としても県へ相談したいと考えています。地区の古くなった下水施設については新品にしないと町はもらい受けないその代替として小型合併浄化槽などを考えていただけると個人的な管理になってしまいますが少しでも安くできるのかなと思います。（建設経済部長）

関連質問）部長さんの発言は、最後の砦と言いますか我々も認識しております。我々が今悩んでいるのが具体的には白沢台にはヒューム管が入っており寿命が50年、一方、塩化ビニール樹脂を90%ほど町は使っていますが、白沢台の配管も塩化ビニール樹脂を進めたい。下水道の担当者とも相談をしまして、白沢台はお金がないので急にはできないが時間をかけてやりたい、その時は町のほうにも入ってもらって順次新管に変更して行き、

8割くらい敢行した段階で状況を確認してもらい状況が良かったら本管に接続する方法をその時点で検討してもらおうという方法もあるのではないかと。いきなり合併浄化槽に話を持っていくというのも残念な話で、文化レベルとしては後退していく話です。今我々はそちらの方に舵を切ろうとしているので、そういう点を一度ご理解いただき、また下水道係に相談に行くときはお声掛けさせていただきますので一緒に話を進めさせていただきたいのですが如何でしょうか。(白沢台)

答) ありがとうございます。以前と同じ回答では自治会さんからもまた同じ答ではないかということもあり、ちょっと新しいというか究極の選択と言われたということですので、今提案を受けましたので、また下水道係へ相談に来ていただきよく話をさせていただいて町の方も検討していきたいと思えます。(建設経済部長)

要望) 年月が掛かるとは思いますがこちらもよろしくお願ひします。諦めずにやります。(白沢台)

意見) 白沢台の件で気になったことがあります。昨年も出席をしていて、昨年は5億か6億円かければ良いと話が聞きました、今日は合併浄化槽にすればいいと出ました、回答を小出しにされている印象です。合併浄化槽を入れた場合、各家庭から出された排水が側溝に流されていくわけですね。その水がちゃんと流れるかという検討も町の方でなされるのですよねということが1点。あと管を塩ビに変えるという意見が出ましたけど、本来であれば町がそういうことの研究をして地区の方に提案をするというのが本来であって、もっと親身になってやっていく必要があるのでは、去年の答弁を見ていましてあまりにも冷たいのではないかと。前向きに考えていただきたい。この件だけでなく別の件も出来ることは、私は目を光らせていますので言われたことはしっかりやっていただきたい、前向きに処理していただきたい。メイツには関係ないですが他人事ではありませんので。(メイツ 巽ヶ丘)

質問(4) 昨年、白沢台では車上狙い3件、さらに過去には住居侵入事件があり、防犯モデル地区であった白沢台としては、防犯カメラを団地入口と中心部に設置して欲しい。(白沢台)

答) 防犯カメラの設置につきましては、町内の主要道路及び、公園等に設置をしており、平成27年度も、中部工業団地西交差点、平成橋北交差点、島田橋東道路及び、高根台中央公園等に6ヶ所設置を計画しております。

カメラの設置につきましては、防犯上効果があると思えますので、今後も必要と思われる箇所への設置を継続してまいりますので、よろしくお願ひします。(総務部長)

関連質問) 申請すれば叶うということでしょうか、順番待ちでしょうか。(白沢台)

答) 今現在は、自治会からの要望は承っておりません。町の方でどの辺りが必要なのかで設置しています。最初は陽なたの丘の公園に設置をしたのですが、これは何回か付け火

をされた、トイレの中を燃やされたということがありました。その後は町の主要幹線道路の町境の出入り口の車の出入りを記録すれば犯罪の抑止につながると考えています。今後の予定はと言いますと、学校周辺の通学路を場所はまだ決まっていますが進めていこうと考えています。(総務部長)

要望) 住民の声が高まったら再度要望に行きますのでよろしくお願いします。(白沢台)

質問(5) 名鉄白沢駅から白沢台への夜間の道が暗く、照明を増やして欲しい。(白沢台)

答) 防犯灯の新設は、年間に30本を予定しており、各行政協力員より、地域内で優先順位をつけ、要望書を提出していただき、町で、現地調査を行い、必要性の高い箇所より設置しています。

今回の設置要望につきましても、行政協力員から要望書を提出していただいたくよう第1回行政協力員会でお願ひしました、必要性が高い場所より設置してまいりますので、よろしくお願ひします。(総務部長)

要望) 防犯灯の照度を上げていただきたい。現在20ワットのLEDをあるか分かりませんが40ワットに変更したら変わるのではないかと思います。月のない夜は本当に暗い。若い女性が名鉄電車から降りてトコトコと歩いている姿を良く見かけます。何かあってからでは遅いので是非、白沢台の入口まで結構ですので40ワットの電球に変えていただきたいということを要望します。(白沢台)

質問(6) 白沢台でも朝夕ウォーキングする人が増えています。健康増進目的で、阿久比川沿いのウォーキングロードを整備出来ませんか。(白沢台)

答) 現在、阿久比川右岸堤について、県道武豊大府サイクリングロードとして、大古根地区の島田橋から椋岡地区の宮津橋を整備中です。今後は、さらに西尾知多線までの上流部も整備する予定となっております。(建設経済部長)

関連質問) 待っていればやっていただけそうなお話でしたが、大体何年後のことでしょうか。(白沢台)

答) 待っていただければ必ず出来ていくと思いますが、何年先と言うのはここでは申し上げられません。実際、県道武豊サイクリングロードになりまして、県のほうで現在植大の島田橋付近から椋岡の万栄橋までをしております。実際見ていただいても何もさわっていない状況です。今年前田川に橋をかける予定です。年間1千万円ほどの予算しかついていない状況なので、今後、宮津、阿久比、卯之山、坂部とその先なので自分が生きている間に出来るかできないかです。(建設経済部長)

関連質問) 出来るだけ早くと期待していますが、とりあえずは一番安いレンガか何かを

敷き詰めるとかだけでも年2回の草刈とかの回数が減るのではないかということも頭の片隅においてご検討いただきたい。(白沢台)

答) 県のほうにも要望を出しておきます。(建設経済部長)

質問(7)《継続要望事項》

循環バス白沢台停留所 高齢者が増えており団地入口へ移動して欲しい。(白沢台)

答) 昨年も同じ質問を頂戴したと思います。循環バス「アグピー号」は、少しでも多くの地域に効率よく運行できるよう試行運行期間中にルートやダイヤの見直しなど、できる限りの工夫をしてみいました。

福住園高台や白沢台、阿久比団地は、試行運行前のアンケートでも、循環バスの運行について特に要望の多い地域でしたが、それぞれ団地の中にまでバスを運行すると、とても時間がかかり、所要時間が長くなってしまいます。そのため、それぞれ住宅団地の入口となるところまで歩いて出ていただき、そこから循環バスをご利用いただいております。白沢台の東側にお住まいの皆さんには、福住バス停もご利用いただきたいと思います。(総務部長)

関連質問) この問題は根強く要望が何回も出されています。町長が先ほどおっしゃった様に、高齢化ワースト2の白沢台です。これから10年後20年後、車の運転が出来ない人が沢山出てきます。そうすると循環バスの必要性が出てくるわけです。今日時刻表をしげしげ見ていましたら、大体1日6便ありますよね、それを例えば1日1便でもいい、朝夕の1便ずつでもいい、或いはそれが出来ないのなら曜日を決めてでもいいので何かそういうことも考えていただかなくては、極論を言うと、ピアゴに買い物に行くと、往きは何か行くのだけど、帰りは荷物があるから大変だと、帰りだけでもバスがあればいいですよ。先ほどおっしゃいましたけど、白沢台の入口から奥までどれだけあるか知っていますか。大体700メートルほどあります。根強い要望が出ております。白沢台の入口から県道まででしたら2,300メートルなので歩けますがそこからズンと奥に距離があります。そこを是非お汲み取りいただいで出来ること、出来ないことありますが1つでも叶えていただきたいということです。(白沢台)

答) 循環バスにつきましては、施行期間中に何度もダイヤと巡回コースを検討しまして今のダイヤに落ち着いたと言うことであります。今の回し方で名鉄阿久比駅の乗換えだとか、高根台での東浦町の循環バスの接続、そういうことも全て計算して今のダイヤに落ち着いたと言うことであります。これを1日1便だとか曜日を決めてということが出来るか分かりませんが、例えばそこで、これも大変難しいとは思いますが、団地内にバスを入れるということになると、もっと要望の強いところがありますのが阿久比団地です。あそこは奥から距離があることに加えまして、ものすごい坂道なのですね。何とか入れてくれということですが、運行の時間が遅れるということが出てきていただいているという経緯がありますので、そういう事情もありますので一度乗換えだとかいうことも無視をしてでも、

今1時間半くらいで回っていますが、それを2時間だとか2時間半とかに1本だけなっても出来るのかということになってきますので、そちらの方の研究を職員の方でしてみたいと思いますのでよろしくお願いします。(総務部長)

質問(7) 行政評価シートの早期公開について

阿久比町は行政評価の導入目的のひとつとして「住民への説明責任」を掲げていますが、平成26年度の評価結果が未公開となっています。また、ホームページ上で公開される内容は従来から定性的な表現が多く、期限、数量などの数値目標が明記されていません。早急に行政評価シートをホームページ上に公開し、住民が各種事業の目的、計画、進捗、効果などを把握できるようにしてください。「窓口公開」で「住民への説明責任」を果たしているとは言えません。(メイツ巽ヶ丘)

答) 本町の行政評価は、町が行っている事務事業について、「どのような成果があったのか」、「当初の目的が達成されているか」など年度ごとに、担当する職員自らが評価・検証を行い、事務事業の改善につなげるとともに、職員の意識改革をはかることを目的とする「事後評価」の形式を採用しており、事前に数値目標や期限を設定する方法は取り入れておりません。

そのため、平成26年度実施事業につきましては、これから事後評価の対象になりますので、現在公表している平成25年度実施事業の事務事業評価が最新になります。

ご質問のとおり、ホームページ上では、「事業の課題」や「改善すべき点」、「今後の方向性」などを取りまとめて公表しておりますが、事業ごとの個別の行政評価シートは、閲覧できるようになっておりませんので、ご覧になりたい場合は役場の担当窓口に来ていただいているのが現状です。(総務部長)

関連質問) 昨年も出席をして、外部評価をお願いしたのですが却下されまして、内部評価の評価シートをオープンにしてということも却下されまして、その後役場の政策協働課まで行って評価シートをいただきました。2枚いただきコピー代を払いました。内容を見ましたが、正直言いまして私の期待したほどのものではなかった。これでは外部評価なんか出来ないかと、なぜこんなにも外部評価のことにこだわるかと言いますと、役場の仕事を見るにあたって、職員が自ら評価をした仕事の内容を評価したものは非常に分かりやすい、そういったことで内部評価の資料を見たいと考えています。今回も行政協力員の仕事の部分を見ましたら行政協力員の仕事は非常に大変である、仕事量減らすために簡易にしないといけないとありながら同じ言葉が毎年、毎年出ている。言葉としては思われるという表現、具体的に行政協力員の仕事がどのように忙しいかはおそらく分析はされていないと思われる。行政協力員からアンケートをとってこの部分が非常にしんどいとか、この部分は要らないとか分析したうえでの評価であれば納得しますが、この評価はなされていないということが1点。今回の未来づくり懇談会について出席している人がほとんど決まっている、同じような問題が何度も出てきましたが、今日もありましたが何度も何度も出ています。なぜ何度も出ているのかを把握したうえで分析しないと同じような評価が何度も出てきます。(メイツ巽ヶ丘)

答) 行政評価のシートを窓口に来て見たが分析のやり方が不十分であるということですが、行政評価を始めるにあたっては、専門のコンサルタントに入ってもらって3年かけて作ったという経緯があります。そのときから何年か経っているということはありませんので、あの当時は良いものをつくったと考えておりましたけれども、分析が不十分であるということであればそういう部分もあるかもしれませんのでその中身については職員の方で検討が必要かもしれません。あと、この未来づくりに関してですが、出席者が固定されてきているとか、質問、要望が多いのでやり方がどうかということがありましたけれども、この未来づくり懇談会の内容については内部で検討したことはあります。地区でこの要望が出したいということで、それがなかなか実現されないのと同じ要望が出されるということはありませんけれども、それであったら要望を聞くのは別の機会に作って、会自体は例えば町政報告会のようなものにして、町が今やっている大きな事業の報告会にして、それに対するご意見だとかご要望だとかを伺うような会にしたらどうかということは職員の中では意見として出ましたが、ただ毎年懇談会で直接町長以下の職員が伺って、直接顔を合わせて意見や要望をいただく場であるということのも有意義な事業でありますので、今のところは名前だけ未来づくり懇談会となっておりますが内容自体は大きく変わらずに今も続いている状況となっております。今年はいち自治会さんから未来づくり懇談会の進め方についてご意見をいただきましたので来年からの未来づくり懇談会の進め方についてはご意見を参考に、もしかしたらやり方自体を変える事になるかもしれませんが、今年度までは同じやり方でやらせていただきました。(総務部長)

関連質問) 行政評価のことですけれど、本当に小さいことですが、今回日赤の集金がありまして私共のところへ各階をまとめて領収書が、請求書が来るのですけれども1つの階だけは全然入っていませんでした。ではその抜けたものは集金しなくていいのかということになりますよね。それでは集金がずいぶん少なくなりますので役場に電話をしたら担当者がすいませんと手書きでよこしました。そうすると集金に伺うとなぜ手書きなのかと言われ、役場で失ったのか本当の領収書が来ないのでこういうことになりました。ということがありました。どこにチェック機関が入っているのか、事務員さんがどういう仕事をなさっているのかこういうミスがあったことは上の方はご承知なのでしょうか。それから去年のことなのですが、肺炎ワクチンの申請にオアシスセンターに行きました。広報の方には保険証を持ってこいと書いてありましたので保険証を持っていきました。そしたら窓口の方でメモ紙を出され、お名前を書いてくださいと言われました。保険証を持ってきたら名前も、住所も、生年月日も全て入っているんですよ。なぜそれを先に言わないのかそれから自分たちの仕事を増やしているのではないかと思いました。たくさん交通のことで質問させてもらってますが20年来改善されていません。もっと良い方法を探してやっていただきたいなと思います。(メイツ巽ヶ丘)

答) 日赤の募集の件ですが、領収書については昨年の実績について作成しております。個人情報との関係で日赤の愛知県支部の方で作成しております。1つ誤解があったのではと思います。(民生部長)

関連質問) 私どもは各階ごとに前年度支払った方の領収書は来ております。各階の中の1つの階だけがスコンと抜けていたのです、申請すべき物の。ですでお話しました。(メイツ巽ヶ丘)

答) それは名簿には載っているが領収書が無かったという事ですか。(民生部長)

関連質問) はい。ご承知ないわけですか。(メイツ巽ヶ丘)

答) それでしたらこちらの方で何らかの間違いがあって渡せなかったのですね。(民生部長)

関連質問) たくさんあるのでということでチェックはしてないのですね。この地区にはこれだけ渡すのだというチェックがあればこういうミスはないですよ。(メイツ巽ヶ丘)

答) 愛知県支部の方で地区ごとに打ち出しされてくるので、それを1枚1枚職員の方で確認はしてないです。名簿と領収書を一緒にまとめて届けさせていただいていますので、その中の一部分が何らかの間違いで抜けてなくなっていたということは申し訳なかったですが、そこまで確認はしていませんでした。(民生部長)

要望) これは日赤の大事な資金で、皆さんからいただく大事な収益ですので、税金扱いですからね、これからは気をつけていただきたいです。(メイツ巽ヶ丘)

質問(8) 各種刊行物の発行経費、配布経費の削減について

インターネットの普及により、パソコンやスマートフォンで町政に関する情報を自由に閲覧することができます。そこで、広報、議会だより等の刊行物の全戸配布を中止し、希望者配布に変更することを提案します。これにより印刷コストの削減、紙ゴミの減量、配布コストの削減などが可能となります。前例に固執することなく「最小のコストで最大の効果を上げる方法」を創意工夫してください。(メイツ巽ヶ丘)

答) 広報紙「広報あぐい」は、町政全般にわたる情報を、わかりやすく、正確に町民の皆様方に伝えるために毎月2回、「議会だより」は年4回発行しております。配布に当たっては、大字・自治会の推薦を頂いている文書送達員を通じて各世帯にお配りしております。また、「阿久比町ホームページ」では、「広報あぐい」や「議会だより」のWeb版を閲覧できるようにしております。

ご提言では「インターネットの普及により、町行政に関する情報を自由に閲覧できるため希望者のみの配布に変更をしてはどうか」ということですが、町は多様化する住民のニーズを的確に把握し、必要な情報をタイムリーに提供することと、全ての町民の方に公平・公正な情報を提供する努めがあります。その手段として「広報紙」「Web版広報」「電光掲示板」「刊行物」などがあります。インターネットは急速に普及していますが、全世帯

が利用できるわけではありませんし、特に老人世帯などではその利用率は高くないと思われます。そういうご家庭はこれからも増えていくことが想定されており、広報紙などの紙媒体による全戸配布は必要と考えておりますのでご理解をいただきたいと思っております。(総務部長)

関連質問) 議会だよりなど諸々のことはホームページでオープンになっていますので限定して希望者だけに配布するのはどうかと。これは私が書いたのですが、はっきり言って無駄なことになりますので全面廃止ではなくて、欲しい人にだけ配布することで特段問題がないかと。印刷の部数が減ると割高になって結果的にはコストダウンにはならないかもしれないが、資源のこともありますので前向きに検討してはどうか。これは一番の問題と思っています私の根底にありますものが、私は阿久比町に来て3年になりますが、以前の町でも自治会のことをしていましたが、いったん仕事を始めますと自治会もそうですが繰り返し、繰り返しやっています。社会環境、生活環境が変わっても繰り返しています。なかなかやめようとしません。これはおそらく役場の仕事でも同じだと思います。1つ敢えて申しますと、広報で行政協力員が決まると顔写真、地区、氏名、電話番号が掲載されます。インターネットでホームページにも同じく掲載されます。ということは全世界に表示されます。自分の名前を検索すると出てきます。個人情報云々の話になりますが、そういうことから考えてもあまり良いことではない。他所を見るとせめて名前を付けるくらい、電話番号をつけている所は少ない。これは昔からやり続けていることであると思っております。それも含めて全ての事業についてもう一度見直しをしてほしいと、そのためにはどういった指標かを出して欲しい。そうすれば色々なアイデアも出ますし、前向きに色々な議論も出ますし良い方向に向かうのかなと。今の答弁を聞きますと、全て却下となっています。もう少し前向きに取り組んでいきますようお願いいたします。

(メイツ巽ヶ丘)

答) 広報あぐいなどを必要な方だけでということではありますが、大変失礼な言い方になりますが、メイツ巽ヶ丘さんならできると思っています。「うちはある」、「うちはいらない」を簡単にできると思いますが、元々ある旧集落でそれをやりますとおそらく大混乱、この家はある、この家はいらないとやりますと、地区にもよりますが文書送達員が地区全部を回るところもありますので、その方に大変ご苦勞をおかけすること、今でもご苦勞をおかけしていることもありますのでこれ以上のご苦勞をかけるというのは町としては忍びないのです。それと、先ほども申しましたが高齢者世帯がこれから増えていきます。インターネットを若い頃からやられた方はお年をめされても利用はされるとは思いますが、印刷物で見たいという方も、例えば、ニュースをインターネット配信で見られる方も新聞は読みたい、私もそうですが活字で見たいという方もみえると思っております。広報の中で自治会長さんの顔写真、地区名、名前、電話番号が載っているということではありますが、おっしゃるとおりで、これは何年か前、個人情報の問題が大きくクローズアップされたときに電話番号を外して何年間かはやったのですが、住民の方から自治会長さんの電話番号がわからないから教えて欲しいと役場に何回も電話がありました。特に転入してきた方で地元のことを聞きたいとか色々教えてもらいたいという方は、まずは電話で連絡を取

りたいということがありまして今は顔写真や電話番号等を広報に掲載することは行政協力員さんに承諾を得ているということです。(総務部長)

関連質問) 私の顔写真、電話番号を載せられて大変迷惑をしています。行政協力員の会で男性は写真を撮るのでネクタイをしてくるようにということは書いてありましたが、電話番号をどうするかということは書いてありませんでした。それでいたずら電話もありましたし大変困っております。町会議員さんには、こういうことはどこそこへというものが出ておりました。それで良いと思うのですよね。あとは町の方に出ればいいので、違う地区の行政協力員の電話番号などは必要ないのですよね。本当に迷惑をしています。(メイツ巽ヶ丘)

答) 広報に電話番号が載っていたら電話があったということは大変ご迷惑をおかけして申し訳ありません。電話番号を載せることになったのは先ほどのご説明のとおりなのですが、広報に掲載することについてはご本人の承諾を今年を取っていないということでしょうか。それは大変失礼いたしました。以前は広報に載せるからということでしたので了解を取っていたものですからそのまま続いていると思っていました。大変申し訳ありませんでした。(総務部長)

質問(9) 名鉄巽ヶ丘駅北側にある踏切付近の車両通行について

この件については従来から、さまざまな要望が出されていますが、未だに、有効な解決策が見いだせてない状態です。そこで、当面の安全対策として、踏切周辺の車両の移動方向を規制する方法について検討されることを提案します。

例えば、踏切を半田街道側からの東行き一方通行とし、踏切東側周辺道路を交通の流れを考慮した一方通行とする。これにより、踏切を通過して半田街道に合流していた車両をセブンイレブン南側の交差点に誘導することになります。(メイツ巽ヶ丘)

答) 巽ヶ丘駅北側の道路は、午前7時から9時までは、県道側から東へ進入できないよう時間規制がされていますが、それ以外の時間では規制されていません。

この道路は知多市、東浦町、阿久比町の境界付近であります。所在地としては知多市になります。道路の規制などについては、各市町の関係自治会の同意を得たうえで、知多署を通じて公安委員会へ要望することとなります。

対応策を考えるうえで、まずは知多市・阿久比町・東浦町の3市町による担当者間での協議・調整を行い、お互いに共通認識を持ったうえで効果的な安全対策が図れるよう進めてまいりたいと考えております。(総務部長)

関連質問) 巽ヶ丘駅北の踏切については、以前からメイツさんからお話がありますが、町として今までに名鉄のほうへ要望したと話されているのですが、名鉄に確認したところそんな要望は全然してないと回答いただきました。町のほうから名鉄のほうへ話してないということですが、そのことについて今まで町が回答のほうを偽っていたのではないかとありますが如何ですか。(白沢)

答) あの道を一方通行にするとかについて、名鉄に要望することはないと思います。道路規制ということであれば公安委員会の所管になりますので、要望を出すなら公安委員会になろうかと思います。(総務部長)

関連質問) 踏み切りの車両通行については名鉄に話をして何とかしてもらえないかという話を以前からしてあったわけなんです。そういった中で知多市、名鉄に要望をするという回答を町がしていたのに全然していないからどうなっているのということです。(白沢)

答) 私の方は、名鉄の話がどうなっているのかということとは分かりませんが、担当から聞いた話では、以前、知多市へは阿久比町ではこういった要望があるのでというお願いをしたということは聞いています。あくまでも知多警察署を経由して公安委員会への要望になります。道路の規制についてはなかなか実現しませんので今のところ今の状況であります。(総務部長)

質問(10) セブンイレブン南側交差点における半田街道侵入時の安全確保について
当該交差点は、名鉄踏切方向から半田街道に合流する際に、南方向の見通しが悪いため、通行車両に気を取られ、歩行者(歩道・横断歩道)を事故に巻き込む危険性が極めて高くなっています。

そこで、東行き道路の拡幅が必要となるかもしれませんが、この交差点に信号機を設置することを提案します。前提案による車両の流れを誘導するのにも役立ちます。

「できない理由ではなく、できる理由」を見つけることに注力していただきますよう、お願いいたします。(メイツ巽ヶ丘)

答) セブンイレブン前の交差点は、確かに見通しが悪いため、私どもも車を運転しているときには半田街道へは出にくいと感じます。右折するときには特にそう思います。

信号機の設置については、大字、自治会からの要望に基づき、町からも併せて公安委員会へ要望することになりますが、関係する白沢・高根台地区がある場合は、各地区かあるいは連名での要望書を提出していただければ、地区からの強い要望があることがわかります。少しでも効果が上がるものになると思いますのでよろしくお願いします。(総務部長)

5. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

提言) 未来づくり懇談会の人数が減少してきた中で、今年は開催にあたって回覧等の周知もしていただいたので参加人数が多くなったのでよかった。(白沢)

提言) 先ほど総務部長からお話があったのですが、未来づくりというものが協働のまちづくりなのかいまひとつはっきりしていない。しいて言えば住民税1%予算枠制度も広報あぐいで見まして非常に安い事業ということも確認しました。しかしこの事業だけで協

働のまちづくりは進んでいかないのではないかと、なぜ政策協働課という立派な名前を作
って協働のまちづくりがだんだん少なくなっていった未来づくりからただのまちづくりに
変わっていった、実際今までの記録を見ましても協働のまちづくりという発言が全体の
8%、そして今日のような住民の方が日々こういうことで困っているから町がどうかし
てくださいという意見が92%です。今日も含めて4回そういう意味合いになっています、
非常に残念です。もっと沢山言いたい事がありますが、もう私もこの会に参加する意欲さ
えも失せました。今後はそういうことがなくなるように、もっと住み良い阿久比町、知多
半島の中でも一番住みや良い町、町長もいつも申しておりますが今人口の伸び率が良い阿
久比町です。住み良い町を住民と行政が一緒になってそういう作っていただくという懇
談の場にさせていただきたくしますよう期待していますのでよろしくお願いします。（白沢）

答) 貴重なご意見ありがとうございました。先ほど申しましたがこの会のあり方、進め
方につきまして各地区からご意見をいただいておりますのでそれを参考に検討したいと思
いますのでよろしくお願いいたします。（総務部長）

提言) 阿久比賛歌という歌がありますよね。演奏できるよう中学校の先生が楽譜にし
てもらっているのにいまいち何処からも聞こえてこないですよね。運動会とかの入場行進
に使えるようにできておりますのでもうちょっと普及というか、今学校で教えていないで
すよね。町制60周年のときに学校で習ったと聞きましたが、非常に良い歌ですので新し
く入ってきた方も歌でひとつにできるかと思っておりますので、是非まずは学校で生徒がみんな
歌えるようにしていただきたい。（メイツ巽ヶ丘）

答) 貴重な意見をありがとうございます。こういう意見があったということで学校の方
に話をつなげて行きたいと思っております。阿久比賛歌で行進の曲ができていう良い話
がありましたので利用について何かできることがないか検討していきたくと思っております。（教
育部長）

質問) 終了時間まで5分しかないということで、予算のことで色々質問したいと思っ
たのですがこの懇談会をもっと自由な意見が言える会にしたい。なんか特定の
の地区だけやっているような感じで、もっと予算について分析をして質問したいことがあ
ります。それができなくて残念ですが時間の関係でひとつだけ質問したいと思っております。私
2012年まで阿久比中学校野球部の外部指導者としてやっておりました。全国大会に参
加できたのでひとつの区切りとして辞めましたけども、その時点でもあぐいの運動施設で
すね、スポーツ村の施設全般ですが町民が使っている比率と町外の方が使っている比率を
ご存知ですか。ちょっと答えていただきたいと思っております。（白沢）

答) スポーツ村の野球場について多くは町外の団体が利用しています。町内の方には大
会とかで使われております。中学校の部活で使っていたことも覚えております。数
字的なものをつかんでおりません。（教育部長）

質問) 正直言いまして1割切っているのですよ。町民が使っていない、その使い方を町

が真剣に分析していただきたいと思います。それを宿題として提案したいので、その使い方を町民の、中学生、小学生で色々なスポーツをやっている子供たちがいるのです。そういう人たち、阿久比町には高校が1つあります。そういう子供たちの将来の健康のためにも、せめて2割くらいは町内の子供たちに使ってもらえるような施策をやっていただきたいと思います。町民憲章にもスポーツに親しみ健康で明るい家庭を作ります、とあるのに全然なっていないのですよ。1割切っているのですよ。町民があれば立派な施設がありながらね。そういうところを十分宿題として提案しますので検討していただきたいと思います。（白沢）

答) 今の話は硬式野球場に特化してお話をしているのではないのでしょうか。例えばグラウンドにつきまして、町民への解放と高校のクラブ、中学校のクラブへの使用、あとは草木グラウンド、板山グラウンド等についてもかなり町民の方に使ってもらっている。ただ硬式野球場についての使用について町民の方についてはあまり申請が出ていませんが、借りに来ていませんが。実業団などや町外の方にお貸ししています。ただし使用の順位がありまして、町内で行う大会だとか甲子園の予選については今まで半田球場でしていたものを老朽化もありましたので阿久比のグラウンドでやってもらえないかということをおも話をしに行きましたが、それで今は使ってもらっていますが甲子園の予選は優先順位を付けさせていただく中で利用をいただいているということでもあります。（町長）

質問) そのことは良く分かっています。室内練習場がありますよね。私が阿久比中学校に2012年までお世話になっていて、辞めて今は他の町で手伝いに来てくれと要望があったのでそちらにいつているのですが、阿久比町はいろいろな運動施設の面で恵まれている、良いグラウンドが白沢、草木、板山、スポーツ村もあります。だけでも室内練習場も知多半島の中ではあんな施設は他にはないです。すごい立派です。だけでもその使用状況を分析してもらいたいグラウンドをpushさえ、練習場をpushさえ、そのpushしている状況が何のためにpushしているのかそういうことを分析してください。（白沢）

答) 今だいたい言っていることが分かりました。室内練習場とを保険にかけているということが行われている。そういったときにあの施設は保険でかけているからpushしたら他のところが使えないじゃないかとそのあたりの運営についてもう少し勉強せよと、そういうことがおっしゃりたいのですね。わかりました。担当の方で勉強させます。（町長）

提言) 私は阿久比中学校のときにそういう状況だった。もっと考えていただきたい。そういう状況を調べてもらいたい。調べてくれといってもなかなか動いてくれません。粘ったのですけど町民がツケをくっている。役場はもっと働いて、町民のためにあの施設を作っているのですからもうちょっとアイデアをだしてもらえればいくらでも対応ができる。そういうことをお願いしたい。（白沢）

6. 閉会あいさつ

大変お疲れ様でした。それぞれの地区から貴重なご意見をいただきまして少しでも町政

に取り入れたいと思っています、なかなか難しい問題もたくさんあります。勉強させていただきますのでよろしくお願いします。これをもちまして、平成27年度未来づくり懇談会終了します。(副町長)